佐川町

尾川地区

防災ハザードマップ

すぐに持ち出せる場所に保管してください。

緊急連絡先・防災関連施設一覧

佐川町役場（22−1111）

総務課（危機管理対策室）	22−7700
産業建設課（道路）	22−7712
産業建設課（水道）	22−7713
産業建設課（農地）	22−7708
健康福祉課	22−7705

警察署（110）

佐川警察署	22−0110

消防（119）

高吾北消防署（火災・救急）	26−2111

医療機関・救急（119）

高北病院	22−1166
清和病院	22−0300

主要避難所一覧

名　称	所在地	電話番号
佐川小学校	佐川町乙 2166	22−0065
佐川中学校	佐川町甲 1936−1	22−1255
文化センター	佐川町甲 356-2	22−1110
斗賀野小学校	佐川町中組 77	22−1170
永野遊学館	佐川町永野 1704	22−1209
尾川小学校	佐川町本郷耕 1879	22−0446
尾川中学校	佐川町本郷耕 1879	22−0443
黒岩小学校 ※	佐川町黒原 482	22−9325
黒岩中学校	佐川町黒原 2799	22−9326
加茂小学校	日高村岩目地 48	24−4600
加茂中学校	日高村岩目地 164	20−1517
桜座	佐川町甲 346−1	22−7878
健康福祉センター「かわせみ」	佐川町乙 2310	22−7705

※土砂災害については避難不可

風水害

平常時から、安全な避難場所と経路を考えておきましょう！

台風や豪雨の威力は計り知れないものがあり、人命や財産などに大きな被害をもたらします。自分の住んでいる地域の地形や地質をしっかり把握し、日頃から気象情報などに十分注意しましょう。

大雨や台風に備えて

家の修理は事前に

屋根瓦のずれ、窓ガラスや外壁のひび割れ、雨どいのつまりなどを点検し、修理をしておきましょう。また、ブロック塀や板塀も補強しましょう。

家の周囲の安全対策

プロパンガスは鎖でしっかり固定しましょう。風で吹き飛ばされやすい鉢植えなどは室内へ、不安定なアンテナも針金で固定しましょう。

気象情報を良く確認して

ラジオやテレビ、インターネットなどで台風の動きを確認しましょう。台風の勢力範囲に入る前に防災対策や避難準備をしましょう。

排水溝などの点検

家の前の排水溝がゴミなどでつまっていないか確認が必要です。また、雨どいなどが、傷んでないか確認しておきましょう。

浸水対策を万全に

床上浸水のおそれがある家では、食料・衣類など生活必需品を、水のつからない高いところに移しましょう。水が入ってきそうな所には土のうなどを積んで防ぎましょう。

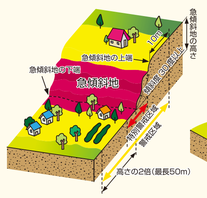
避難するときの心掛け

避難するときは、2人以上ではぐれないようにロープで結び、特に子どもからは目を離さず、長い棒などを杖代わりにして水面下を確認しながら歩きましょう。

土砂災害

前兆現象を察知して、早めの避難を！

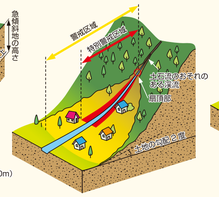
急傾斜地の崩壊



土砂災害警戒区域

- 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- 急傾斜地の上端からの水平距離が10m以内の区域
- 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍（50mを超える場合は50m）以内の区域

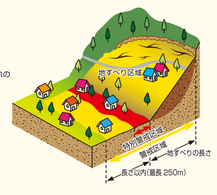
土石流



土砂災害警戒区域

- 土石流の発生のおそれのある渓流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域

地すべり



土砂災害警戒区域

- 地すべり区域（地すべりしている区域または地すべりするおそれのある区域）
- 地すべり区域下端から、地すべり地塊の長さに相当する距離（250mを超える場合は、250m）の範囲内の区域

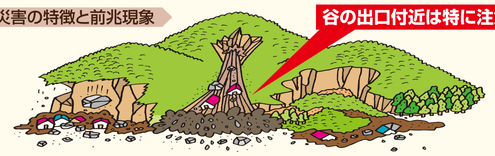
土砂災害特別警戒区域

土石等の移動などにより建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石等の移動などに対して住民の生命等や身体に著しい危害が生じるおそれのある損壊を生ずることなく耐えることのできる力の大きさを上回る区域

前兆現象を知り、危険から身を守ろう！

土砂災害の特徴と前兆現象

谷の出口付近は特に注意！



がけ崩れ

雨や地震などの影響によって斜面が突然崩れ落ちる現象です。

土石流

石や土砂が、集中豪雨などによって水と一体となり、下流へ一気に流れ出す現象です。

地すべり

大雨などでゆるくなった斜面が、ゆっくりと斜面下方へ動き出す現象です。

次のような前兆現象に注意し、危険を感じたら速やかに避難しましょう！

- 小石がパラパラと落ちてくる
- がけから水が湧き出ている
- がけにひび割れができる
- 山鳴りがする
- 川の水が濁り流木が混ざる
- 雨が降り続いているのに川の水位が下がる
- 地面にひび割れや段差ができる
- 地鳴りがする
- 沢や井戸の水が濁る
- 斜面から水がふき出す

こんなときはどうすればいいの？

土砂災害警戒情報に注意しながら、左の図に示す前兆現象や雨の状況を確認して、避難の準備や避難をしましょう。

平成26年8月 広島土砂災害

気象情報	避難情報	皆さんの行動
大雨注意報 大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表されます。		
大雨警報 大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表されます。 さらに大雨が続くと・・・ 土砂災害のおそれが高まります！	**避難準備情報** 災害による人的被害の発生する可能性が高まった状況	お年寄り、子ども、障がいのある人、病気の人など、避難に時間を要する人は、避難行動を開始してください。
土砂災害警戒情報 大雨による土砂災害発生の危険性が高まった場合に発表されます。この情報は、自主避難の判断等に利用することを目的としています。	**避難勧告** 災害による人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	避難所などへ避難を開始してください。屋外への避難が困難な場合は、建物の2階以上(斜面と反対側の部屋)に緊急的に避難しましょう。
	避難指示 切迫した状況であり、災害による人的被害の発生する可能性が非常に高いと判断された状況	避難所などへ直ちに避難してください。屋外への避難が困難な場合は、建物の2階以上(斜面と反対側の部屋)に緊急的に避難しましょう。

気象情報と避難情報の入手先

気象庁	パソコン	http://www.jma.go.jp/jma/
高知地方気象台	パソコン	http://www.jma-net.go.jp/kochi/index.html
防災情報提供センター	パソコン	http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
	携帯サイト	http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html
川の防災情報	パソコン	http://www.river.go.jp/
	携帯サイト	http://i.river.go.jp/
高知県水防情報システム	パソコン	http://kouhou.bousai.pref.kochi.jp/suibou/index.html
佐川町役場	パソコン	http://www.town.sakawa.lg.jp/
	メール配信システム	http://www.town.sakawa.lg.jp/life/dtl.php?hdnKey=1211

わが家の防災メモ

突然やってくる災害、あわてないためにすぐに記入しよう！

住　所

氏　名

電　話

避難場所と家族の集合場所

家族・親戚連絡先

氏　名	電話（勤務先・学校）	住　所	メ　モ

家族データ

氏　名	生年月日	血液型	メ　モ （服用薬などを記入する）

防災となり組連絡先

氏　名	電　話	氏　名	電　話

このマップに関するお問い合わせ

佐川町役場

〒789-1292
高知県高岡郡佐川町甲1650番地2
総務課（危機管理対策室）☎0889-22-7700

非常時持ち出し品

非常時持ち出し品の置き場所を決めて、みんなで確認しましょう。

日頃からチェック ☑ をしておきましょう！

非常時持ち出し品

すぐに持ち出せるように、リュックサックなどにまとめておきましょう！

常備薬・救急セット

包帯、ガーゼ、バンソウコウ、傷薬、消毒薬、胃腸薬、はさみなど軽いケガや病気に応急処置ができるもの

非常用食料・飲料水

米（アルファ米など）、乾パン、インスタントラーメン、クラッカー、缶詰、飲料水など

応急生活用品

携帯電話、笛、ビニール袋、貴重品（現金など）、タオル、ティッシュペーパー、洗面用具、毛布、衣類、軍手、雨具、ナイフ、ロープ、ラジオ、懐中電灯、防寒着なども準備

備蓄品

災害復旧までの数日間（1週間程度）分準備するもの

非常用食料・飲料水

備蓄の量としては、1週間程度を目標に

カセットコンロ

お湯を沸かす道具や、燃料も忘れずに

その他生活用品

洗面用具、ろうそく、新聞、なべ、点火具、バケツ、毛布など

高齢者や体の不自由な方または赤ちゃんがいる家庭

介護用品、オムツやティッシュペーパー、常備薬、救急セットなど

ミネラルウォーターを忘れずに用意
お子さんの状況によっては離乳食を準備

非常時持ち出し品の置き場所を決めて、みんなで確認しましょう

地　震

佐川町で発生するおそれのある地震

日本周辺で発生する地震は、中央構造線など内陸地下の活断層による「直下型地震」と海側プレートが陸側プレートの下に沈み込み、そのひずみの蓄積が限界に達したとき、陸側プレートが跳ね上がり、地震が発生する「海溝型地震」との2つに大別することができます。

本マップでは、町内全域で非常に大きな揺れが起こる「南海トラフを震源とする海溝型地震（最大クラス）」について記載しています。

南海トラフを震源とする海溝型地震（最大クラス）とは

南海トラフを震源とする地震は、30年以内に70％以上の確率で発生するといわれています。次に発生する地震が必ずしも想定どおりになるとは限りませんが、被害を少なくするため、日常より防災対策（迅速な避難ができる準備や建物耐震化、家具転倒防止など）をしておきましょう。

佐川町における震度予測

	地区名	震　度		地区名	震　度
佐　川	上　郷	6　強	尾　川	古　畑	6　強
	東元町	6　強		松ノ木	6　強
	松　崎	6　強		西　山	6　弱
	中本町	6　強		高　平	6　弱
	柳　瀬	6　強		中　村	6　弱
	青　去	6　強	黒　岩	平　野	7
	荷　稲	6　強		上黒原	7
	下　山	6　強		寺　野	6　強
	馬ノ原	6　強		庄　田	6　強
	中　山	6　弱		大田川	6　強
斗賀野	古用地	6　強		二ツ野	6　強
	鉢ヶ森	6　強		四ツ白	6　弱
	裡野々	6　強		中　野	6　弱
	砂　止	6　弱	加　茂	本村西	6　弱
	川原田	6　弱		本村東	6　強
	入寺山	6　弱		弘　岡	6　強
	二ノ部	6　弱		竹ノ倉	6　強
	岩井口	6　弱		横　山	6　強
	川ノ内組	6　弱		長　竹	6　弱

震度6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度6強

- 立っていることができず、はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。
- 耐震性の高い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。
- 耐震性の高い木造建物は、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。

震度7

- 固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたり、飛ぶこともある。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものが多くなる。

家の中の安全対策

●金具の利用

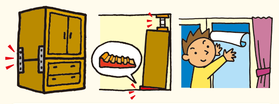
背の高い家具は、L字型金具で固定。2段・3段重ねの家具は、特に倒れやすいので、平型金具で連結します。

●転倒防止器具の利用

天井との間につっぱり棒をつける。また、下に転倒防止板などを差し込んで、壁や柱に寄りかかるように固定します。

●窓ガラス

ひび割れや窓枠のがたつきをチェックし、飛散防止フィルムをはったり、雨戸を取り付けたりします。



家の外の安全対策

●塀

ブロック塀や門柱にきちんと鉄筋が入っていますか。また、基礎はしっかりしていますか。ひび割れや傾きがあったら補修しておきましょう。

●屋根

ひび割れ、ずれ、はがれなどはありませんか。アンテナもしっかり固定しておきましょう。

●外壁

亀裂や痛り、浮きはありませんか。あったら直しておきましょう。

地震発生から避難・避難後までの行動マニュアル

ゆれた！地震発生

南海トラフを震源とする地震 約100秒～180秒つづきます

① まず、身を守る

クッションや座布団などで頭を保護。丈夫な机やテーブルの下などに隠れる場合はテーブルの足をしっかり持つ。

② 非常脱出口の確保

玄関、窓を開けて逃げ口を確保する。

揺れがおさまったらすぐ避難の場合もあります

揺れがおさまったら家族の安全確認

① 靴または底の厚いスリッパを履く

靴または底の厚いスリッパを履き、ガラスの破片や散乱物から足を守る。

② 家族の安全確認

倒れた家具の下敷きになっていないか確認する。

③ 火元の確認

ガスの元栓を締め、ブレーカーを落とす。もし火が出ていたら、あわてずに初期消火をする。

余震に注意しながら隣近所の安全確認

① 隣近所への声かけ

けが人、行方不明者がいないかを確認する。

② 火災時には協力して初期消火

大声で知らせて、消火器、バケツリレーなど近隣で協力して初期消火をする。

デマにまどわされず、正確な情報を収集

① 正しい情報を収集する

テレビやラジオなどで正確な情報を収集する。役場、消防、警察、自主防災組織などの情報を確認する。

② 災害用伝言ダイヤル 171

伝言の録音方法 ① 録音する場合は①を押す

171 にダイヤルする

伝言の再生方法 ② 聞く場合は②を押す

音声案内が流れます

「被災者」は自分の番号を。「被災者以外」は被災地の電話番号（市外局番から）を 一括番号欄に記入し、伝言を録く（30秒以内）

災害発生時（豪雨・洪水など）に稼働するNTTの災害用伝言ダイヤルサービスです。家族や友人が被災した場合の安否確認や連絡に役立ちます。

災害用伝言ダイヤル（171）に関するお問い合わせは、局番なしの「116」番、またはお近くのNTT支店・営業所窓口へ

避難後は助け合いの心で行動を

① 地域で協力する応急救護の体制づくり

② 倒壊した家やその危険性のある家には入らない

③ 水・食料の確保

いざというときのために、日頃から1週間分を目標に飲料水と食料を備蓄する。

④ 災害情報、被害情報の収集